

新図書館の整備に向けた市民ワークショップ



全ての関係者が、想いを次につなげるためにカード（見開きタイプ）に記入し、富士山のシルエットになるようにボードに貼りました。このボードは、図書館等で展示する予定です。ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。今後も、図書館のインフルエンサーとして、情報の拡散や魅力発信にご協力をお願いします。



いまココ！

市民ワークショップ 第1回 3月26日 第2回 4月9日 第3回 5月7日

プログラム

1. 挨拶・前回の振り返り (10分)
2. グループワーク (70分)
3. 発表（共有） (20分)
4. 次に想いをつなげよう (10分)
5. 記念撮影 (05分)
6. まとめ・連絡・感想 (05分)



前回の成果物を見ながら振り返り



グループワークで活発に意見交換



参加者全員で共有するために発表



次につなげる想いをカードに記入

第3回開催！

vol.03

新図書館の整備に向けた市民ワークショップ かわらばん

あなたの想いが未来を変える！

こんな場所・空間にしたい！
次に想いをつなげよう ②



第3回 令和4年5月7日(土) 13時30分～15時30分
御殿場市役所東館 201～203会議室

御殿場市では、郷土資料館を複合化した新図書館の整備事業を進めており、令和4年1月から基本計画の策定に取り組んでいます。市民の皆様と一緒に考え検討していく市民ワークショップについては、今回で最後となります。

第3回では前回の振り返りをした後、グループワークを中心に進めました。前回のグループワーク2「こんな場所・空間にしたい！」を発展させ、話し合う場所や項目を増やしつつ、「10年後、20年後にどんな図書館になってほしいか」といった未来の図書館像を意識したテーマとしました。

どのグループもそれぞれの意見を尊重しながら、活発な意見交換がされました。また、ワークショップ参加者の想いを次につなげ、市民の皆様と共有するため、ワークショップの最後に参加者全員の想いを記入したメッセージボードを作成しました。

こんな場所・空間にしたい！ 2

グループワークでは、前回のグループワーク2を発展させ、以下の8つのエリアやテーマについてより詳細に話し合いました（前回から「郷土資料」「外部空間」「まちじゅうとしょかん」「その他」を追加して話し合いました）。

子どもエリア

- ・読み聞かせは、常に行われていると良い
- ・紙芝居、人形劇、読み聞かせ等は、扉のある部屋で
- ・大型絵本、外国語の絵本や本のコーナーがほしい
- ・子どもが自分で本を探せるような工夫がほしい
- ・子どもエリア専用の貸し出しカウンターがあると、子どもが自分で本を借りることまで学べそう
- ・ものがたりのコマで、絵本の世界観を再現したらおもしろい
- ・子どもが大声を出しても、迷惑が掛からないようにしてほしい
- ・子どもエリアを囲うと、高校生等が児童書を借りに行きにくくなる
- ・不審者対策、子どもの安全を守る

託児

- ・子どもを預けて、本を探したり自分だけの時間をつくりたい
- ・子育て世代がイベント等を開催するときに託児サービスを利用したい

本の読み方、本の紹介

- ・書棚の間に椅子を置いてほしい
- ・ソファや座るスペースを増やしてほしい
- ・至る所で本を読みたい、本に囲まれたい
- ・大人も寝ながら本を読めたらいいな
- ・1人で狭い空間で静かに本を読みたい
- ・新聞や雑誌を持ってテラスで読みたい
- ・本の紹介エリアをつかってほしい

外部での活動、設え

- ・外で読書や飲食がしたい
- ・ハンモックがあるとゆったり自然に囲まれて読めるかも
- ・テラスでも勉強したい
- ・子どもが泣いたりしたときにすぐに外へ出たい
- ・外に遊具がほしい(子どもが遊べるように)
- ・テラス等の植物について詳しく知れる本を紹介
- ・野外ステージがほしい(部活や神楽の発表等)
- ・森でマルシェをしたい、外でヨガをしたい
- ・自転車置場は絶対囲わない、外から見えるようにする

まちじゅうとしょかん

学校や地域をつなぐ

- ・駅や学校等とバスで行き来できるようにしてほしい
- ・学校や支所で本を借りられるようにしてほしい
- ・学校から出掛けて、図書館で総合学習の授業が行えるとよい
- ・市内小学校とオススメの本を共有してほしい
- ・部活とのコラボ、発表の場、レクチャー等の場にしてほしい
- ・本棚オーナー制は取り入れられないか？

他施設とのネットワーク、学校連携

その他

- ・「ふじざくら」の講座と重ならないようにしてほしい
- ・ずっと富士山が見える図書館にしてほしい
- ・学校の授業(小遠足等)で図書館に行く
- ・図書館の隅々までバリアフリーであってほしい
- ・本を入れて運べるカゴやカートがあると便利
- ・御殿場市内の学校の活動の展示をしてほしい

- ・夜の図書館イベントを開催してほしい
- ・本を一時的に置くことができる棚がほしい
- ・ロッカーがほしい
- ・図書館から遠い地域に住む高齢者は交通の心配があるため、家族に迷惑をかけず図書館に行けるようにしてほしい

子どもエリア

子どもの発達段階(乳児、幼児、小学生等)に合わせてどのようにしたいか？

カフェ・飲食

どんなカフェにしたいか？飲食はどこで、どのようにしたいか？

カフェ

- ・借りた本をカフェで自由に読めたらうれしい(家で飲食しながら読んでいる人もいると思うので)
- ・カフェでもイベントを楽しめると良い
- ・においが少ない食べ物のみを提供する
- ・子どもメニューと大人メニューの両方があると良い
- ・飲み物をテラスに持っていきたい

飲食

- ・飲み物はどこでも可にして、食事は決められた場所にする
- ・「食」は決まった場所が良い

郷土資料

郷土のコマ、郷土資料室との関係、郷土資料を図書館でどう読むか？

- ・本を借りに来たついでに立ち寄りやすいようにしたい
- ・子どもが勝手に入っていけないように区切りがほしい
- ・子どもが興味を持てる空間にしてほしい
- ・目で見て、触れられる体験型の展示が良い
- ・パンフレットや関連書籍も一緒に展示してほしい
- ・郷土資料は写真撮影OKにする
- ・学校の授業で使える郷土資料室にしてほしい
- ・御殿場市や富士山に関する資料を豊富にしてほしい
- ・御殿場市や山に限らず、周辺地域の文化も教えてほしい
- ・近年の御殿場についての資料もあると良い
- ・季節の行事、まち特有の楽しみ方の展示があってほしい
- ・神事、神楽等、伝統文化を披露する機会を設ける
- ・郷土資料のグッズをお土産みたいに販売してみたい
- ・アート、美意識を磨く美術館でもあってほしい

書架エリア・コマ

本をどうやって読みたいか？本を使って、どのように調べたいか？

外部空間

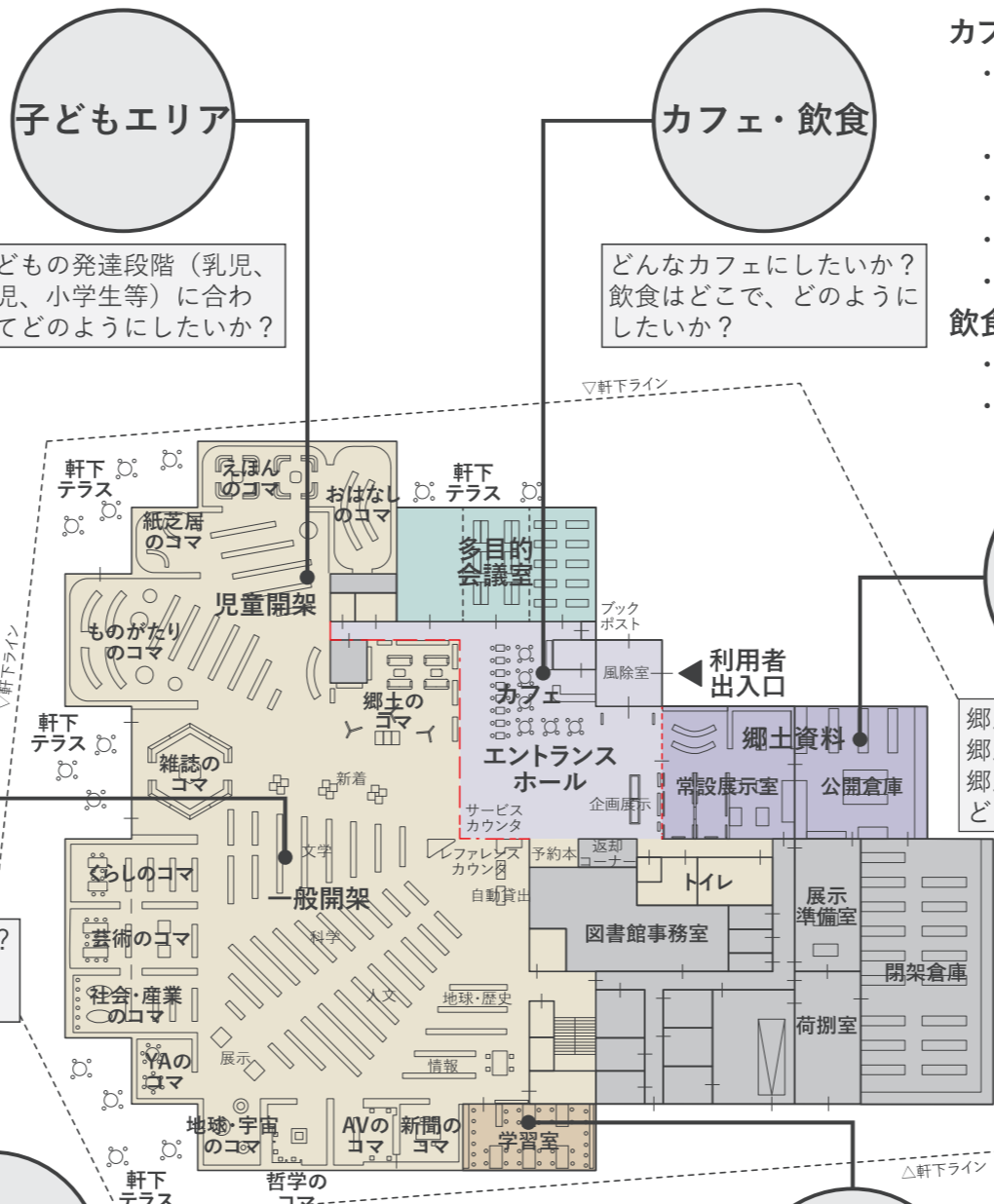
テラス、自然の森、文化の森、地層展示等

学習室・YA

誰が、いつ、何人ぐらいで、どのように学習したいか？飲み物、メンテナンス、ICTなど、どう考えるか？

学習室・YA(ヤングアダルト)

- ・1人で勉強できる場所と、友達と教え合いができる場所がほしい
- ・集中できるように、防音対策や机の向きに配慮してほしい
- ・2階にも学習室がほしい
- ・好きな所で勉強、読書、調べ物ができるようにしてほしい
- ・不登校の子どもたちの居場所になるようにしてほしい
- ・調べ物が出来るように誰でも利用できるタブレットがほしい
- ・自習室の混み具合をインターネットで把握できるようにしてほしい



プロポーザル案 平面図1階